

■ 開講年度	■ 開講学期	■ 開講学部等		
2021	第3クォーター	法文学部人文社会学科		
■ 科目ナンバリング	■ 時間割番号	■ 科目名[英文名]		
LdG2D-2LTR-319	C13191	フランス言語文化特講II Special Lecture on French Language and Culture II		
■ 担当教員[ローマ字表記]				■ 単位数
柳 光子 [YANAGI Mitsuko]				1
■ 授業科目区分	専門教育科目 専門教育科目	■ 対象学生	■ 対象年次	2～

### 授業題目

フランス古典主義時代の演劇研究  
(A Study of Drama in French Classicism)

### 授業のキーワード

フランス文学(French Literature), 古典主義(Classicism), 演劇(Drama)

### 授業の目的

17世紀に希有の発展をとげたフランス演劇について多角的に学び、古典主義時代の文学に対する理解を深めるとともに、作品へのさまざまなアプローチの方法を体験する。

### 授業の到達目標

- (1) フランス文学の特徴や代表的作品について論述することができる。
- (2) 文学作品を時代背景や文化的状況を考慮して読解することができる。
- (3) 文化の多様性を認識し、異文化理解への一助とすることができる。

### ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標) / 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

幅広い教養と人文社会諸科学の基本的な知識を身につけている。  
人間・文化・社会の在り方について、グローバル・マインドに立脚した多角的な視点から、論理的にかつ客観的に分析し考察することができる。

### 愛媛大学学生として期待される能力 (愛大学生コンピテンシー) に関わる項目

個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる  
習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現(記述・口述)できる  
広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる

### 授業概要

\* この科目は対面授業で開講する予定ですが、感染拡大等の状況によっては実施形態を変更する場合があります。遠隔授業になった場合は、数回の非同期型が混じる可能性はありますが、原則として同期型での授業となる予定です。

ルイ14世のヴェルサイユ宮廷時代をその頂点とする古典主義時代の文化は、多方面にわたってその後のフランス文化の規範となりました。なかでも演劇の隆盛は文学史上、特筆に値する出来事であったと言えます。授業では古典劇の規則、当時の劇場や上演の様子、重要な演劇論争などの概説をまじえつつ、ラシーヌの悲劇やモリエールの喜劇を中心とする諸作品を論じます。

なお、現代の独創的な古典劇の演出を幾つか紹介するほか、戯曲の上演収録DVDや映画化・ドラマ化された作品を鑑賞する機会を可能な限り設ける予定ですので、その都合によっては、授業スケジュールに順序の入れ替えなど多少の変動があり

えます。Moodle を利用する「メディア授業」も何回か実施する予定です。

### 授業スケジュール

※本特講を履修する場合は、第4クォーターに開講される「フランス言語文化特講II」（担当教員：柳）を同時に履修登録すること。

1. 授業のガイダンス
2. 「偉大なる世紀」と古典主義時代
3. 古典主義の理念と美学
4. ヴェルサイユと太陽王の神話
5. アカデミーの設立とその意義
6. コルネイユ——人と作品
7. 作品鑑賞『ル・シッド』
8. ここまでのまとめ・ふりかえり（課題提出）

参考のため、第4クォーターでのスケジュールを以下に示します。

9. 後半へのイントロ——17世紀の舞台・劇場の発展史
10. モリエール——人と作品
11. 作品鑑賞『守銭奴』
12. ラシーヌ——人と作品
13. 作品鑑賞『アンドロマック』
14. 上演収録映像の鑑賞
15. 上演収録映像の鑑賞
16. まとめ・ふりかえり（課題提出）

### 授業時間外学習にかかわる情報

目標とする知識と能力を身につけるには、授業に加えて受講生自身による学習を必要とします。特に作品の抜粋など、あらかじめ配付された資料は、必ず十分な時間をかけて読み、感想や疑問点などをまとめたうえで授業に出席すること。

### 成績評価方法

1. 平常点（予習の実績、授業内容へのコメントなど）30%
2. レポート（予告の上、授業時間中に2回の実施予定）70%

注意：本学のルールにより、出席が3分の2に満たない受講生は成績判定の対象から外れ、単位取得は不可能となります。

### 受講条件

フランス語およびフランス文学に関する予備知識は、なくても構いません。

### 受講のルール

講義形式で授業を行います。受講生からの積極的な発言を歓迎します。私語をはじめとする迷惑行為は厳禁。

授業中に配付する資料を、次の回以降に受け取ることはできません。欠席などにより受け取らなかった場合、その週のうちに連絡し、次回の授業よりも前に取りに来ること。それができなかった場合は、他の受講生から借りるなどして自分で解決しなければなりません。資料が紙媒体ではなく、Moodle コース上からダウンロードする形で配付される場合も、所定の期間を過ぎての利用はできないため、必ず「予習」できるよう準備する習慣を身につけてください。

\*「授業のスケジュール」にも示した通り、本特講を履修するにあたっては、第4クォーターに開講される「フランス言語文化特講II」（担当教員：柳）を同時に履修登録してください。連続受講することで完結する内容だからです。やむを得ない事情により、どうしても連続受講できない場合は、必ず事前に相談のこと。

### 教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	-			ISBN
	著者名	出版社		出版年	

### 参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	古典劇集			ISBN	4480206183
	著者名	-	出版社	筑摩書房	出版年	1975
参考書2	書名	守銭奴			ISBN	400325127X
	著者名	モリエール	出版社	岩波書店	出版年	1973
参考書3	書名	フェードル／アンドロマック			ISBN	4003251148
	著者名	ラシーヌ	出版社	岩波書店	出版年	1993

### 教科書・参考書に関する補足情報

教科書は使用せず、必要に応じて資料を配付。

### 参考書に関する図書館への連絡事項（この欄は学生から参照することはできません）

### オフィスアワー

木曜日 15:00～16:00（時間調整が必要な場合があるため、できるだけ前日までにメールで連絡してください。また、事前に連絡があれば、可能な範囲で他の曜日・時間帯にも対応します）

### Eメールアドレス

yanagi.mitsuko.mx@ehime-u.ac.jp

### 連絡先

柳研究室：法文本館8階（801）

### 参照ホームページ

### その他

### 実務経験のある教員による授業科目